

公表

保護者からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名 コロル城東

公表日 令和 7 年 7 月 2 9 日

利用児童数

15名

回収数

4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。		25%		75%	現在は絵カード等の用意が単純なものしか保育園側と共有しているのを見受けられないが、十分なのかは不明だが今後就学した際にはもっとなにか必要に感じる部分が出てくると思うので整えていくことが出来る制度は必要と思う。	お子様の特性や発達、集団生活の環境に合わせて、活用できるツールがある際は、積極的に情報共有をしていくことができるようにできればと思います。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	75%			25%	児発の事業所でも保育園でも周りから完全に遮断された部屋でお話を出来ているので有難い。	
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	100%					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	75%		25%		訪問の時間帯に関しては配慮されていると感じるが、月に2日の支援が事業所内の人員の都合や、担当者に忘れられていたりして不本意に減らされていることがある。	訪問について、施設都合により予定の回数訪問できない際は、事前にお伝えするように致します。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	50%	25%	25%		訪問する職員によって報告内容の濃度が低いことがある。視る力の実力差を感じざるを得ない。また、報告内容が保育園側の報告と食い違うこともあり、保育園の担当保育士とのコミュニケーションに欠けていることがあるのではということも含めて適正に課題があると感じる。	お子様の理解や、専門知識について施設内での情報共有に加え、研修等でのスキルアップを目指してまいります。 また、訪問先のご担当者様とも内容についての共有と擦り合わせを行ない、相違の内容に努めます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	75%	25%			十分に支援に意味を感じられる職員もいるがそうでない場合もある。報告内容に曖昧さがあったり、発語のない子の訪問支援には言語聴覚士が適任とは個人的には感じない。保育士や総合的に知識のある児発管などが適任と感じる為、もう少し保護者側にも訪問を対応する職員に対して意見がいえる環境が欲しい。	お子様の理解や、専門知識について施設内での情報共有に加え、研修等でのスキルアップを目指してまいります。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	75%			25%		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	75%			25%		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	75%	25%				
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	75%	25%			毎度訪問日の候補日の提案や決定が遅い傾向があり、保育園側からももっと早期に訪問支援日の候補が聞けたらと言われていいる。	できる限り早く予定を決めることができるようにしてまいります。
保 障	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	75%	25%				
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	75%			25%		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	25%	25%	25%	25%		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50%	50%			支援計画の評価や作成に伴ったモニタリングは行われている。子育てに関する助言等を受けたことは無い。	ご要望に応じて取り組みをしてまいります。

護 者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	75%	25%			職員によつての能力差を感じざるを得ない部分だと思う。寄り添ってくれるような対応をしてくれる職員がいる中で、子に対しての無関心さを感じたり、難な対応を受けたことがある。	対応について、ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。職員の意識改善に取り組みます。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	75%	25%				
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				LINE等で気軽に迅速なやり取りが出来るのは有難い。	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	50%	25%		25%		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	25%	50%		25%		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	75%	25%			職員により能力差を感じざるを得ない。	お子様の理解や、専門知識について施設内での情報共有に加え、研修等でのスキルアップを目指してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	50%	25%		25%		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	50%		25%	25%	保育園の避難訓練の日に訪問支援が行われた際に、子どもが園が用意した避難靴が履けず先生にずっと抱っこされる形で避難していたと共有された。抱っこでないと移動ができないのは避難時には問題であると保護者としては感じた為、なにか改善する為にできる手段はないのか相談したが事業所職員からも保育園からも何も返答がなかった。忘れられたのだと思う。	対応に不十分な点がありお詫び申し上げます。 訪問支援実施の中でのご意見やご質問については、事業所内で共有し訪問先とも検討していく対応を行なってまいります。
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75%	25%				
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	50%			50%		
	28	事業所の支援に満足していますか。	75%		25%		相談したいと伝えればすぐにお電話する時間を作ってくださったり、こういうことをしてほしいなどの意見も取り入れて毎回トレーニングしてくださったり、感謝しかないです。	嬉しいお言葉をありがとうございます。 お子様の成長のサポートやより良い生活環境を作るサポートを今後も行なっていければと思います。